

研究グループ名：復興計画研究会

代表者名：山本佳世子

代表者所属：電気通信大学

代表者連絡先：E-mail kayoko.yamamoto@uec.ac.jp

：電話 042-443-5728

参加メンバー：計画理論研究専門部会委員

研究課題名：東日本大震災からの復興のための土地利用・空間利用計画

研究概要：

日本計画行政学会計画理論研究専門部会は2008年9月に設立され、過去2年間に計画理論に関する専門家を講師として招聘すること、全国大会でワークショップを開催することなどにより、多様な計画理論についての知識を深め、議論を行ってきた。とくに防災については、設立以来、専門部会の中心的なテーマとして取り上げ、研究活動を行ってきた。

東日本大震災についても、これまでに2回の専門部会を公開で開催し、東日本大震災からの復興について、現地調査報告および話題提供をもとに議論を進めてきた。

これまでの議論のポイントは以下の6点であり、①～⑤は土地利用や空間利用にとくに関連したものである。

- ① 復興の組織体制
- ② 被災市町村の復興モデル
- ③ 復旧・復興にあたっての私権の制限
- ④ 新法による線引き都市計画の意味
- ⑤ 産業、特に製造業におけるBCPと第1次産業
- ⑥ リスクコミュニケーションのあり方

また、原発による問題点として、以下の2点も論点としてあげられる。

- ⑦ 原発避難区域の市町村への対処
- ⑧ 放射の汚染風評被害農家への対応

以上の論点について、今後は、コモンズ研究専門部会との合同専門部会（7月）、全国大会時のワークショップ（9月）において、さらに詳細を検討して議論を深め、重要な論点を絞っていく予定である。

そして、特に①～⑥については、特定の市町村を対象として、その復興過程への参画を通して復興に貢献する。対象地域としては、当面、宮城県南三陸町を取り上げる。また⑦⑧については、原発問題の今後の推移を見守りながら、福島県内などにおいて対象地域を選定する予定である。